

本場の英語を

ネット電話で

可児工高

4月交流開始

オーストラリア

可児市とオーストラリアをネット電話で結んだ英語学習が、4月から可児工業高校で始まる。同市久々利の可児郷土歴史館で14日、市職員が中継試験に臨んだ。

(斉藤明彦)



小型カメラで画像を映しながら、古民家を紹介する職員。可児市久々利の可児郷土歴史館で

試験中継で200年前古民家紹介

オーストラリアでコ生動物救護施設スタッフ中継。文化振興課職員アラやカンガルなどフの話英語で聞いてが縁側やいろりなどの保護・啓発活動をし環境への理解を深め間取りや庭園を紹介している水野哲男さん。可児市からは、クた。生徒からは「冬は(金)ーブリスベーン市イーンスランド州のクどうやって部屋を暖め在住、可児市広眺ヶ丘リーブランド高校で日ていたのか」「井戸は出身」が、「若い人た本語を学ぶ生徒に、市どつ見つけるのか」とちに動物保護への興味職員が日本の自然環境いう質問があった。通を持ってもらいたい」を説明する。市は年間訳を務めた水野さんはと市に提案したのがき十回程度の交流を見込「都市化でオーストラっかけ。市内の学校にんでいる。リアの野生動物の生活打診したところ同校がこの日は、日本文化の場が減っていることを受け入れた。に親しんでもらおうとを伝えたい」と抱負を

可児工業高では、野二百年前の古民家から語った。